

vol. 616

# LINK



公益社団法人郡山青年会議所 2025年度スローガン

## Bridging the future

～希望をつなぎ、郡山の未来を創ろう～

皆様におかれましては、新年の幕開けを健やかに迎えることと心よりお慶び申し上げます。

平素は、私ども公益社団法人郡山青年会議所に対して、格別のご高配を賜り誠にありがとうございます。

昨年は、郡山市内で活動をしている音楽団体や学生団体、市民が主役となって音楽を発信する機会を提供し、来場した市民が地域の音楽団体、まちの音楽に対するさらなる興味や親しみを醸成することを目的とした「楽都アソシエーション」や、子どもたちが自身が見聞できない地域のコミュニティを認知し、実際に体験することで新しい興味を拓き、明日からの行動が変わる場所を創出することを目的とした「明日からやりたい発見隊になろう!!」などの事業を行いました。各事業に対し皆様よりご支援・ご協力を賜りましたことに、現役会員を代表し心より御礼申し上げます。

本年度は、「Bridging the future ～希望をつなぎ、郡山の未来を創ろう～」をスローガンに掲げ、郡山をより良くするために運動を展開してまいります。地域の課題に向き合い、社会により良い変化を生み出すために、会員一人ひとりが希望をもたらず変革の起点としてリーダーシップを発揮し、過去と未来をつなぎ、不変の想いに共感するパートナーとの懸け橋となることで、新しい郡山の未来を創ってまいります。さらに、本年度は公益社団法人日本青年会議所東北地区協議会会長に、本青年会議所より、柳沼勝恵君が輩出されます。現役会員一同、柳沼会長体制をしっかりとお支えし、ともに良い運動を起こせるよう努めてまいります。どうか皆様方のご指導・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様方にとりまして希望溢れる一年となりますことをご心よりご祈念申し上げます。年頭の挨拶とさせていただきます。本年もよろしくお願い申し上げます。



### 新春のご挨拶

二〇二五年度 第六十五代理事長 佐久間悠治

## スローガン Bridging the future ～希望をつなぎ、郡山の未来を創ろう～

【はじめに】

エネルギー価格の上昇や気候変動の進行といった世界的な問題が私たちの生活に大きな影響を与えています。また、AIやDXの進歩により、私たちの働き方や地域社会の在り方も大きく変化しています。このような時代に郡山青年会議所は地域のために何ができるのでしょうか。郡山青年会議所は1961年、全国で197番目の青年会議所として誕生しました。以来、郡山の発展のため、地域の課題に向き合い、「明るい豊かな社会の実現」のために運動を展開してきました。

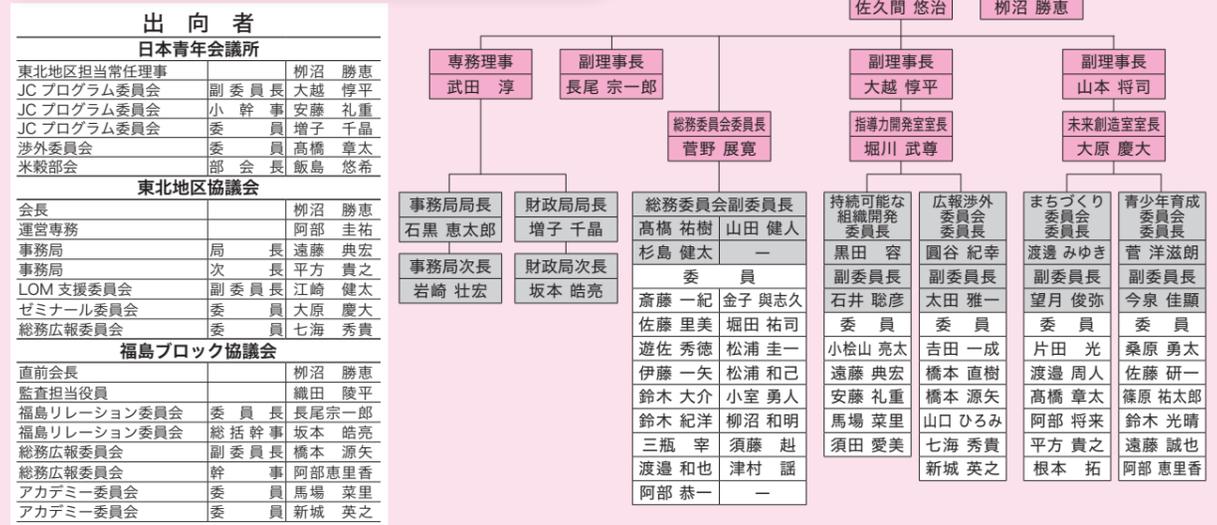
郡山市は昨年、市制施行100周年という節目を迎え、新しい時代がはじまりました。社会情勢や価値観が常に変化する今、郡山青年会議所にとっても新しい時代に即した運動と組織運営が求められます。また、「このまちをより良くしたい」という不変の想いに共感するパートナーと郡山青年会議所が協働し、地域の課題を解決することで、社会により良い変化を生むことができると考えます。郡山青年会議所会員一人ひとりが、希望をもたらず変革の起点としてリーダーシップを発揮し、過去と未来をつなぎ、不変の想いに共感するパートナーとの懸け橋となることで、新しい郡山の未来を創ってまいります。

【効果を最大化する組織運営】

郡山青年会議所には様々な価値観をもった会員が在籍しています。明るい豊かな社会の実現のためには、お互いを理解し、共通の理念のもと運動を展開し、共感を生むことが大切です。会員同士が顔を合わせる機会をより多くもつことで

## 2025 組織図および出向者紹介

●2025年度、14名の新入会員を加えて68名でのスタートとなります。よろしくお願いいたします。



## 新入会員紹介

あべ きょういち <b>阿部 恭一</b> 阿部製粉(株) 取締役	いとう かずや <b>伊藤 一矢</b> ㈱ライト・エージェンシー 副部長	こむろ はやと <b>小室 勇人</b> ㈱ネットコトヤ郡山(株) 取締役	さんぺい つかさ <b>三瓶 幸</b> ㈱サンデザイン 代表取締役専務	すずき だいすけ <b>鈴木 大介</b> まごいち整健院 代表	すずき のりひろ <b>鈴木 紀洋</b> (同)鈴木 代表社員	すどう たけし <b>須藤 赴</b> ㈱ウエルズホーム 取締役部長
つむら りょう <b>津村 諤</b> 福島民友新聞社 記者	ほった ゆうじ <b>堀田 祐司</b> (有)丸実産業 取締役	まつむら かづみ <b>松浦 和己</b> (有)蟻塚塗装工業 代表取締役	まつむら けいいち <b>松浦 圭一</b> 医療法人慈聚会	やぎぬま かずあき <b>柳沼 和明</b> (有)柳沼産業 取締役専務	ゆさ ひでのり <b>遊佐 秀徳</b> (株)アクシア 代表取締役	わたなべ かずや <b>渡邊 和也</b> 白河ラーメン やまだ 代表

## アンケートのお願い

本誌や当団体へのご意見やご感想をお寄せください。

郡山青年会議所では本誌や当団体に対するご意見やご感想を募集しています。記載のQRコードが回答いただくか、FAXやハガキに左記項目を明記してお送りください。

※ご記入いただいた個人情報は誌面を充実させることや事業へ役立てる以外での目的で使用いたしません。

公益社団法人郡山青年会議所  
広報渉外委員会宛  
〒963-8004 福島県郡山市  
中町5-17 中町スペース3F  
FAX 024-932-28657

性別 ● 年齢 ● 関係者か否か  
● 興味・共感を持った記事または事業  
● 本誌や当団体へのご意見・ご感想  
● 当団体にやってほしい事業

（宛先）  
公益社団法人郡山青年会議所  
広報渉外委員会宛  
〒963-8004 福島県郡山市  
中町5-17 中町スペース3F  
FAX 024-932-28657

アンケート QRコード

SNSによる情報発信も  
行っています。

Instagram QRコード

Facebook QRコード

X QRコード



Vol.616号 発行所事務局 公益社団法人郡山青年会議所 中町5-17 中町スペース3F 電話02493212289 発行責任者/理事長 佐久間悠治 編集責任者/広報渉外委員会委員長 園谷 紀幸 ※無断転載禁止

対話が生まれ、お互いの価値観を深く理解することができ、新しい可能性の創出につながります。一方で、それぞれの異なる事情により参加したくてもそれが叶わない会員がいる現状もあります。各種会議や例会において、多くの会員が集えるように開催方法に柔軟性をたせ、ビジョンを共有することで、会員一人ひとりに理念が浸透し共感が生まれ、能動的に青年会議所の運動・活動ができます。会員一人ひとりの行動が変わり、地域を牽引する存在となることで運動の最大化を図っていきます。

【組織の未来のために】

青年会議所だけでなく地域のために活動する団体が多数存在し、所属する組織の選択肢が増えるなかで、私たちの目指す「明るい豊かな社会」の実現のためには、私たちの運動や組織に対し社会や人々から共感される魅力ある存在でなくてはなりません。そのためには、会員一人ひとりが青年会議所の理念に共感し、まちをより良くしたいという自らの行動と、JC運動を通して成長した姿をまだ見ぬ同志に示すことで、組織の魅力の発信者になることが重要です。理念共感をさらに浸透させ、資質向上を通して魅力ある人材を育成し、誰もが挑戦し活躍できる組織となり、運動を共にしたいと思われる組織へとアップデートすることで、持続可能な組織を創造します。

【想いを伝え共に】

郡山青年会議所は、デジタル技術の進歩により多様化する情報発信の手法に合わせ、様々なツールを用いて運動に込められた想いを発信してきました。情報が溢れる時代において、今後も発信方法がさらに複雑に変化していくなかで郡山青年会議所の運動に込められた想いを地域の人々に伝えるためにはどのような取り

組みが必要でしょうか。効果的に私たちの情報発信を行うには、このまちのために活動をしている団体やメディアとの連携の強化と新しいパートナーの拡大に取り組むことに併せて、各種団体やイベントに参加する人たちと顔を合わせて郡山青年会議所の想いを発信することが必要であると考えます。また、今まで用いていたメディアの特性を発信者が今一度見つめ直し、対象となる相手に的確に情報を届けることのできる手法を用いて発信してまいります。この広報活動を通して、郡山青年会議所の想いを地域の人々に届けることで私たちの運動に賛同するパートナーを増やし、共感の輪を広げます。

【地域の未来を拓く】

都市部への一極集中によって、地方都市では若者が都市部へ流出している問題があり、郡山においても例外ではありません。IoTによってすべての人とモノがつながり、デジタル技術を活用したまちづくりが行われることで、多くの技術的な進歩が市民の生活を支え、人々の考え方や価値観も柔軟に変化してきました。また、これらの変化に合わせて、あらゆる組織においてダイバーシティ&インクルージョンの考えがより強く求められるようになってきました。そのため、地域の人々に多様性を受け入れる社会の重要性を理解してもらい、共感と賛同を得ることが必要です。郡山青年会議所は、多様な人々との対話や交流を通して、最先端の技術や考え方、DXを活用した柔軟な働き方を知ってもらう機会を創出することで、あらゆる個性が輝き、住みや働く働きやすい環境への可能性を拓き、地域の活性化と持続可能な発展へとつな

【子どもたちの夢の実現のために】

子どもを取り巻く環境は、人々の価値

観や生活様式が多様化している一方で、人間関係の希薄化、地域社会のコミュニティ意識の衰退などの影響を受けています。それによって子どもたちの夢を想像する経験の場が減少しています。この現状を変え子どもたちが自らの可能性を広げることができる社会を築くことは、持続可能な地域社会に必要不可欠です。地域社会全体で子どもたちに夢をもつことの大切さを教えるためには、地域の憧れの大人からの様々な体験を通して、子どもたちが夢をもつ機会の創出が必要だと考えます。地域に希望をもち、活躍できる社会を創ることで、子どもたちが笑顔で夢を描ける持続可能な社会の実現へとつなげていきます。

【出向を通じた個人の発展と組織の発展】

本年は東北地区協議会会長をはじめ、多くの会員を各出向先に輩出します。出向を通して多くの同志と切磋琢磨することで自己成長の機会とし、さらに出向先で得た多くのつながりを活かして、あらゆる面での青年会議所や団体と郡山青年会議所の懸け橋となつてくれると信じています。そして、私たちは出向者の能動的な行動に刺激を受け、積極的に出向先の事業に参加することで、郡山青年会議所だけでは得ることのできない事業を体験し、それぞれの成長が相乗効果をもたらし、郡山青年会議所のさらなる発展へとつながります。

【結びに】

郡山の未来を切り拓くためには、郡山青年会議所会員一人ひとりがこの地域の可能性を信じ、行動を起こしていくことが重要です。そして地域と共に変革をもたらし、次の時代に希望をつないでいくことで、未来に向けた発展の原動力になります。時代の変化に対応しつつも、「このまちをより良くしたい」という想い

をもち続け、私たちの運動が多くのの人々に広がり、郡山全体を巻き込んで大きなうねりとなり、郡山の未来への懸け橋となつていきます。明るい豊かな社会の創造のために、今こそ新たな一歩を踏み出し、希望をつなぎ未来を創っていきましょう。

郡山青年会議所OB会  
「令和七年度定時総会」



一月六日、郡山ホテルハマツにて、郡山青年会議所OB会「令和七年度定時総会」が開催された。定時総会では、令和六年度事業および決算報告の件、令和七年度事業計画および事業予算ならびに役員選任の件が全会一致で可決承認された。（公社）郡山青年会議所理事長佐久間悠治君による挨拶の後、（公社）郡山青年会議所役員ならびに出向者、令和七年度新入会員の紹介が行われ、終始和やかに会が進行した。

- 第一号議案 令和六年度事業報告承認に関する件
- 第二号議案 令和六年度決算報告承認に関する件
- 監査報告
- 第三号議案 令和七年度事業計画（案）承認に関する件
- 第四号議案 令和七年度収支予算（案）承認に関する件
- 第五号議案 令和七年度役員選任（案）承認に関する件



福島県知事  
内堀 雅雄 様

復興と地方創生の新たなステージに向けて

謹んで新年の御挨拶を申し上げます。昨年は、パリ2024オリンピック・パラリンピックでの本県関係選手の活躍など、スポーツに関する明るい話題が続いたほか、2026年春のふくしまデザインエキスポの開催決定など、今後の復興と地方創生を後押しする動きも数多く見られました。

また、震災と原発事故から間もなく14年が経過する中、避難地域では、4つの町に認定された全ての特定帰還居住区域において除染・解体作業が進められているほか、県産農産物の輸出货量が過去最高を記録し、県内への移住者数も過去最多を更新するなど、これまで続けてきた挑戦の成果が目に見える形となつて現れてきています。一方で、廃炉と汚染水・処理水対策を始めとした原子力災害に伴う様々な課題に加え、急激に進む人口減少など、依然として困難な課題が山積しており、長い戦いとなる本県の復興と「福島ならではの地方創生を成し遂げるためには、今後も挑戦を続けていかなければなりません」。

まず、震災と原発事故からの復興・再生につぎましては、令和7年度が最終年度となる第2期復興・創生期間後のステージを見据えながら、復興の進捗に伴って生じた新たな課題やニーズに的確に対応していくとともに、被災者の生活再建や事業・生業の再生、帰還に向けた環境整備などの課題に着実に取り組んでまいります。また、人口減少対策につきましても、急激な人口減少のスピードをいかに緩やかにしていくかが重要となつていくことから、様々な主体と危機感を共有しながら、出会い・結婚から妊娠・出産、子育てのライフステージに応じた切れ目のない支援などの「自然減対策」と、県内で働く魅力を発信し、若者の県内定着・還流を図る取組や移住・定住の促進などの「社会減対策」の両面から粘り強く取り組んでまいります。

今年4月からは、ブレDCがスタートします。来年の本番に向けた機運醸成を図りながら、多くの皆様に、本県の様々な魅力と復興に向けて力強く歩み続ける福島の今を「見て」「食べて」「感じて」いただけるよう、準備を進めてまいります。今後、県民の皆様と共に、挑戦を続けてまいりますので、一層の御支援、御協力をお願い申し上げます。新年の御挨拶といたします。



郡山市長  
品川 万里 様

「ウェルビーイング都市・郡山」  
の実現を目指して

新年おめでとうございます。皆様には輝かしい希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年中は、「Do one's best」心尽くして行動しよう！私たちの想いが新世紀 郡山の扉を開く」のスローガンのもと、会員皆様方の創意工夫により各種事業を展開され、明るく豊かな地域社会づくりに積極的に取り組んでいただきましたことに、心から敬意と感謝の意を表します。

さて、現在、我が国を取り巻く経済環境は、人口減少・少子高齢化の進展に伴う国内マーケットの縮小や働き手の不足、エネルギー・資材の価格高騰、気候変動への対応、自然災害の激甚化、頻発化によるサプライチェーンの寸断など、様々な課題に直面しております。

このような中、本市におきましては、農商工連携・6次化推進によるイノベーションの創出や事業再構築、リ・スキリング等による生産性や稼ぐ力の向上、サーキュラーエコノミー社会の実現に資するべく、「ふくしま」をけん引する競争力のある郡山経済を目指してまいります。本市は、昨年、郡山市制施行100周年を迎え、次の100年に向けた新たな歩みを始めました。100年後、そして1000年後の市民の皆様にも評価いただけるよう、誰一人取り残されず、多様な個人それぞれが幸せや生きがいを感じることで、「ウェルビーイング都市・郡山」の創生・発展を目指し、共に歩んでまいります。

佐久間悠治新理事長をはじめ会員皆様方の御活躍を心からお祈り申し上げますとともに、本年も市政への御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。新年の御挨拶といたします。



郡山商工会議所 会頭  
滝田 康雄 様

地域経済の持続的な成長

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、清々しい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

郡山青年会議所の皆様には、「奉仕」「修練」「友情」の三信条のもと、諸先輩方が築き上げた伝統を継承し、進取の精神に富む若者の視点で、地域の未来に向けた多様な事業を展開され地域活性化にご尽力されておりますこと、心から御礼申し上げます。

さて、企業を取り巻く環境は、昨年に引き続き、エネルギー価格が高騰している状況にあります。日銀短観では生成AI関連を中心とした積極的な設備投資や、個人消費の増加により、景気判断が「持ち直している」とのことです。

このため、郡山商工会議所といたしましては、引き続き、地域経済の持続的な成長が図られるよう、会員企業の活力向上と経済活性化などに取り組んで参る考えであります。とりわけ、昨年のビール祭では、貴青年会議所の皆様に多大なるご支援ご協力を賜り、盛況のうちに終了することができました。重ねて御礼を申し上げます。

貴青年会議所におかれましては、佐久間理事長が掲げられたスローガン「Bridging the future」希望をつなぎ、郡山の未来を創ろう」のもと、若い感性と行動力を発揮して、夢と希望がふれる若者が活躍する地域づくりの実現に向けて、邁進されますようご期待申し上げます。

結びに、貴青年会議所の益々のご発展と、会員の皆様のご活躍とご健勝を心からご祈念申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。